

戰時行政

1 非緊要產業ニ對スル雇傭制限令
米國ノ軍需生産ハ客年十一月以來遅滞傾向ヲ示シ一七月四日陸軍補給本部長「ゾマヴィル」談一四日華府A P一本年第
二四半期ニ於テハ計產量ヲ四億弗下廻ルニ至リ一四月一日規
定ノ同期間生産計量ノ八「パーセント」一十三日華府A P
特ニ重火砲、戰車、破壊砲、中型戰車、重「トラック」、「ラ
ジオ」兵器、爆弾、「タイヤ」建設機械等ノ生産遅滞著シ
ク一七月三日陸軍省發表一三日華府「ロイター」一、大統領
幕僚長「リード」一七月十一日戰時生產局長官「ネルソン」
宛書翰ヲ以テ陸海軍共同參謀本部へ現在ノ軍需生産遅滞ニ困
惑シ居リ若シ右事情方繼續スルニ於テハ作戰計畫ノ變更ヲ餘
儀ナクセラレ戰爭ヲ長期化セシムルコトトナルベシト警告ヲ
發シタル經緯アリ一十一日華府A P一而シテ之ガ原因ハ勞動
力不足ニシテ一七月十三日陸軍次官「バタソン」談一十三日
華府A P一右ハ戰局樂觀、平和轉換氣氛ヘニ由來スル勞動者
ノ軍需工場離脱傾向ニ基ク所トセラル處戰時動員局長官「バ
トル」一ズ一ハ四日左ノ如キ聲明ヲ以テ緊要軍需產業ニ於ケル勞
動力確保措置ヲ指令シタリ一四日官用電一

近代戦争ノ方法ニ幾多ノ變化起レル結果軍ノ需要が變化スルノ兎レザル處ナルガ、今ヤ全世界ニ亘リ活潑ナル攻勢ヲ展開シツツア建設機械、「タイヤ」等特定軍需品ヲ益々必要トスルニ至レリ、然ルニ吾人ハ幸ニ原料不足ハ之ヲ克服シタリトハイヘ、右生産ノ労働力ニ不足ヲ來シツツアリ、之ヲ打開スルガ爲ニハ民需及非繁要產業ニ雇傭制限制（エムブロイメント・シーリング）ヲ布キ、依テ浮クベキ熟練工ヲ軍需生産ニ振向クルヲ必要トスル次第ニシテ、國民徵用制ニ訴フルコトナク戦争ヲ完遂セントセバ右ノ制度ハ不可避ノ措置ナリトス、斯テ余ハ諭諒全官廳ニ對シ之ガ強行ノ爲一切ノ權力ヲ使用シ得ベキ權限ヲ賦與シタリ。更ニ俘虜ノ利用ニ關シテモ研究セラレツツアリ、俘虜ハ武器彈藥ノ生産ニ使用シ得ズタルモ彼等ヲ利用シ得ベキ部門ハ多々アリ、更ニ外國労働者ヲ労働力補給ノ不可能ナル分野ニ長期間利用スル計畫モ立案セラレツツアリ

國內ニハ戦争終末近シトノ一般的氣運ヲ存スルモ終戦ノ時期ハ何人モ豫測スルヲ得ズ、吾人ハ最後ノ一彈迄生産セザルベカラズ、軍需入ハ軍需工場ノ仕事ヲ捨テ民需生産ニ復歸ヲ欲シ居ノルモ、軍需工場ヨリノ離職繼續センカ戦争早期終結ノ可能性ハ、大阻害ヲ受クベシ。戦争ノ必要ハ總テニ優先スベク、民需生産ハ軍需生産ヲ妨害スルヲ得ザルナリ

三産業再導換及民需生産再導換公表（註参照）ハ、政府
 カ戦争終結ノ爲全力ヲ傾倒スル半面、再導換問題處理ノ準備ヲ行
 フトトイフ意未ニ過キス即チ該計畫ハ軍需生産計画力必要トセ
 サル物資及労働力ノ生シタル場合ニ於テ始メテ民需増産ヲ企圖セ
 ントスルモノニシテ、政府及議會力新ル計画ヲ研究スルハ我爭ノ
 早期終結ヲ判然期待スルカ故ニアラス、或争ヨリ平和ヘノ導換ノ
 務、労働力ノ利用ハ、募集、軍需工場ニ於ケル雇傭訓練ノ規定、右ニ
 一九四三年九月四日、W.P.O.ハ西部沿岸地域ニ關シ軍需及緊要民需
 務、労働力需要ニ即應スル新號ヲ發表シ次イテ右計画ハ全國ノ
 域域勞動業ニW.P.O.代委員會長トスル「地域生産緊要委員會」へAPC
 O.ヲ設立シ之ニW.P.O.ハ指揮令ニ達ヒ當該地域労働力ノ需要スル
 産業ニ優先順位ヲ附スル權限ヲ與ヘ、別ニ人的資源委員長ノ下ニ
 人、人的資源優先委員會」へ直P.O.ヲ該地域ニ設置シ之ニ層備前
 務、労働力移動統制APCOニ被ル優先順位ノ實行反対及ニ該地域
 緊要部門力依然トンテ認定ニ達シ居ラサル資狀ニ當ナルカ
 今日軍需生產ノ重要性ノ重視ヨリ民需ヘノ轉換ニ樂シ勞働力ノヨリ敵遠ナル制
 經勞働力ノ適正利用確保ノ權限ヲ武具スルニアリタル次第ナル
 當法ヲ今ヨリ確立シ直クコトノ望マシキニ越ミヨリ綿密ニシテ、
 有効的ナル統制力必要トナレルヲ以テ大ノ如ク皆寺スルモノ才
 トスル。該計畫ノ實行反対及ニ該地域
 2
 (d) A P U C 及 M P C ノ決定スル緊要生産及緊要役務ノ必要ニ立脚
 シ「第一級」勞動地域へ現有労働力ノ利用改善ノ爲軍需產業ニ
 履備制限ヲ迅速ニ設定シ緊要軍需工場ニ勞働力ヲ振向クル爲緊
 急設置スベシ右地域ノ民需增産ヘ右A P U C 及 M P C ラ至
 移動ヲ遲延乃至拒絶スルヲ得ズ
 (e) 第一級ニ至「第二級」ノ勞動地域ノA P U C ガ生産ノ緊要
 ナルヲ認定スルトキハ人的資源委員會ハ該地域ニ對スル労働力
 之ヲ行ヒ得ズ而シテ A P U C 及 M P C ニ於テ勞働力ニ眞ニ余裕
 ラ生ジタルヲ證言セザル限り右許可ヲ與雪得ザルモノトス
 2
 本令ノ結果軍需生產ニ振向ケルベキ労働力ベ二十萬ノ由
 日華府A P C

(二) 自主的検閲強化ノ要請
戦時検閲局ハ一日全國ノ新聞及「ラヂオ」放送局ニ對シ自主的
検閲ノ強化ヲ左ノ如ク要請セリ。一日華府 U.P.
(一) 議會動向
1、上院ニ戰後復員法案提出
上院ハ再開ト共ニ平和轉換ノ人的側面タル復員ニ關スル法
案ノ審議ヲ開始セル處右ニ二案アリ、一ハ民主黨「キルゴア」
及「マレイ」、兩議員提出ニ係る陸軍委員會案(同案ハ五日全
國會議會再開、休會ヲ終ヘ二日再開セリ)。但シ下院ハ上院が産業再
轉換ニ關スル法案審議中三日ニ一回會合スルコドニ申合セタル
ニ對シ海陸空ヨリ攻撃ヲ加フル意圖ヲ有スルヲ熟知シ居ルヲモ
放送局ハ自主的検閲ヲ更ニ強化スベシ、太平洋戰ニ關シテモ
日本ハ米國ガ比島以下日本占領下ノ諸地域ヲ解放シ日本々土モ
ソノ編成及裝備ニ關スル情報ハ嚴重祕匿ヲ要ス
以テ、攻擊ノ時期ト場所ト方法、作戰ノ順序、攻擊軍ノ兵力、
ソノ編成及裝備ニ關スル情報ハ嚴重祕匿ヲ要ス

註 W.P.B.長官「ネルソン」ハ六月十八日産業再轉換準備ニ關
スル諸方策ヲ提案シ、戰爭事情ノ許スニ從ヒ本方針ニ從ヒ民
需生産ノ急速ナム再開ヲ行ヒ得ヘキ準備措置ヲ深ルコト重視
ナリト述べ左ノ如キ内容ヲ七月一日ヨリ實施スベキ旨發表セ
ルガ、陸海軍及人的資源委員會、W.P.B.内部及大會社方面
リ強硬ナル反對アリタル結果實施期日ヲ八月十五日ニ延期セ
リ、十四日紐育「タスク」計画セラレタル生産品一個
ニ製造業者ニ對シ戰後生産トシテ計画セラレタル生産品一個
ニ限リ試作資材ノ入手ヲ許可ス
ニ政府所有過剰在荷中ヨリ民需生産用工作機械及壽型ヲ購入
スルヲ製造業者ニ許可シ、又戰時生産ヲ阻害セサル限り右
工作機械及壽型ノ發註ヲ許可ス
以上詳細「經濟查報第五九號參看」

238

(三)

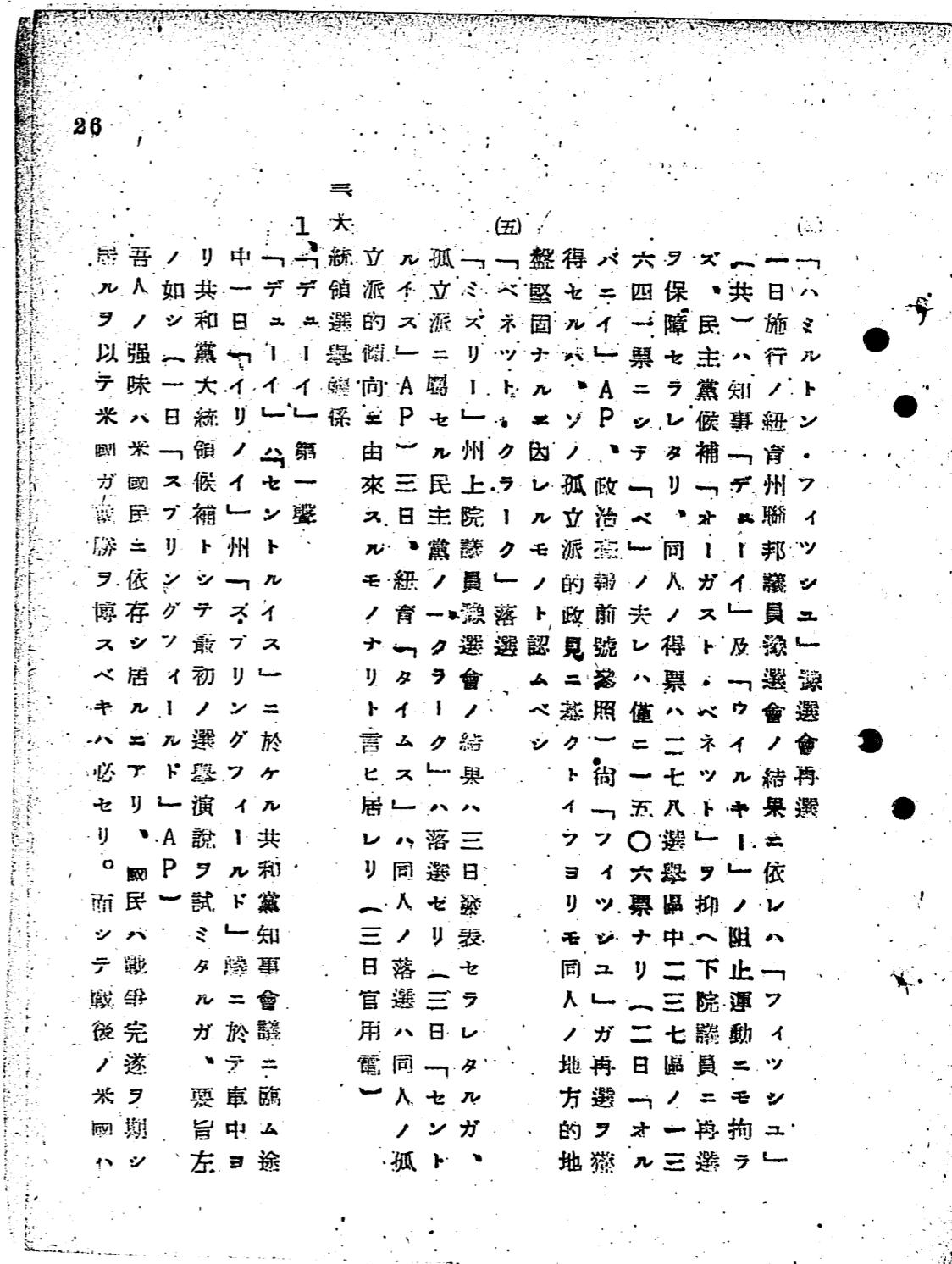
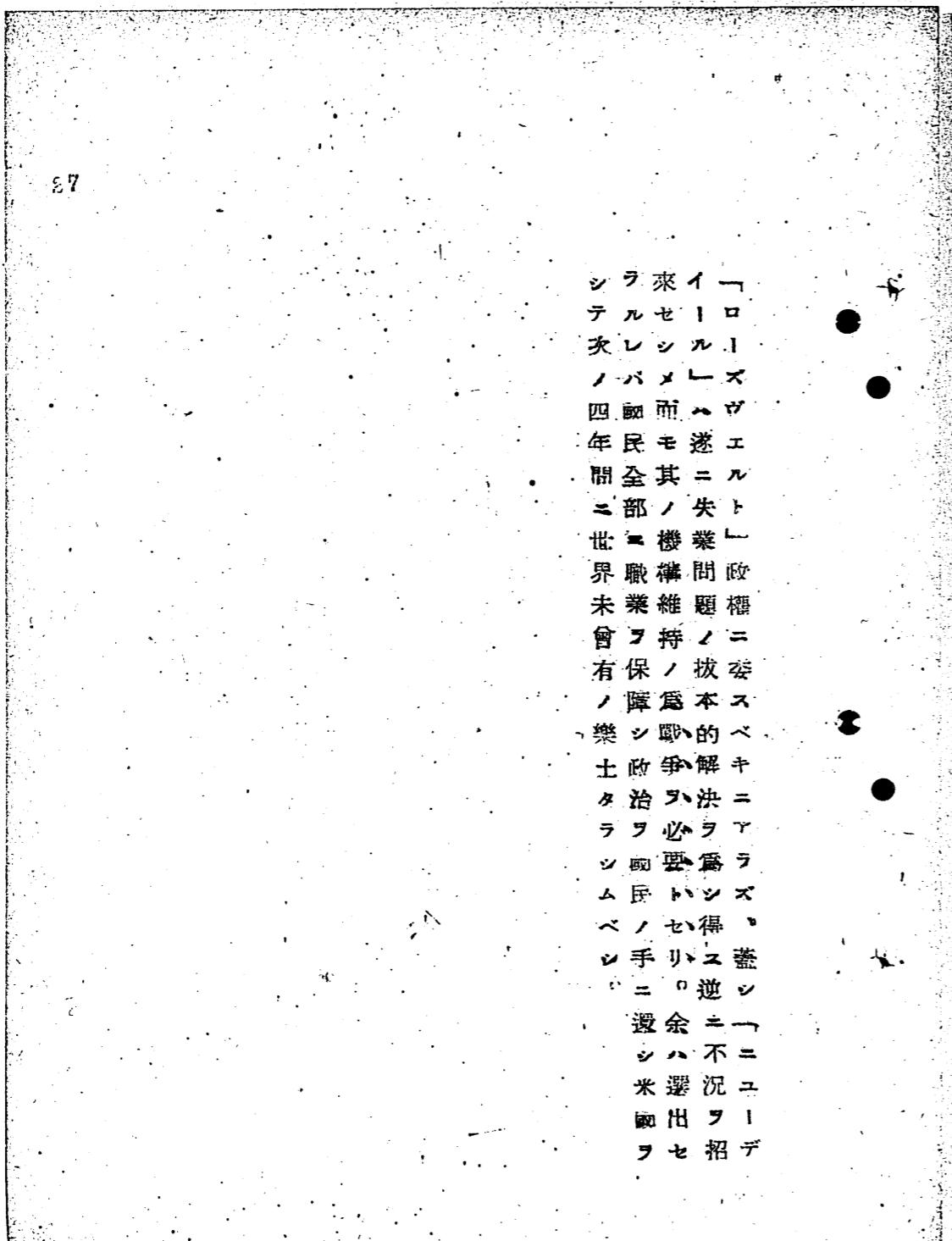
2
、二日紐育「タイムス」社説ハ「議會ニ於ケル再轉換計畫ノ審議ノ遲滯ハ、現行政治組織ノ下ニ於テ實任力分散セシメラレ晦澁トナリ居ル證據ナリ、歐洲平和力人種ノ豫想ヨリモ早ク到來スヘキモノナラハ大統領ハ議會ニ對シ今日全面的再轉換計畫ヲ獨立シ之ヲ立法化スルノ重要性ヲ大イニ強調スヘカリシ次第ニシテ、議會カ本問題ニ關シ統一的委員會ヲ組織シ居タランニハ事態ハ大イニ改善セラレタルナルヘシ」ト述ヘ同案審議ノ促進ヲ要望スルト共ニ議會内部ニ於テ立憲機關力分立シ居ル點ヲ攻撃セリヘ二日官用電一
「ミード」上院戰爭努力調查委員長就任
「トルマン」ハ副大統領候補ニ指名セラレタルヲ理由トシテ三年半在職セル上院戰爭努力調查委員長ノ辭職ヲ申出デタル處紐育州選出「ミード」「民」カ三日後任トシテ就命セラレタリ、當初右委員長ニ「コナリー」擬セラレタルモ「コ」ハ外交委員長ノ職務ハ右ヲ兼ヌルヲ許サストシテ辭退セリ（三日華府

2

ハ G I O ノ支持アリ、二ハ財政委員長「ジョージ」提出ノ財政委員會案ニシテ一般失業補償基金ヲ設定シ各州ヲシテ之ヨリ失業手當ヲ支給セシムルヲ骨子トスル由ナルガ、失業補償ヲ州ノ任務トスル點ニ於テ「キルゴア」案ト對立ス、共和黨側ハ本案ニ贊意ヲ表シ「キルゴア」案ヲ排撃シ居レリ（五日華府 A P 、六日 K W I D 、 K R O J ）

REEL No. 調-0068

0395



129

3

將兵投票選舉
軍籍者不在投票法ニ依レバ在外將兵ハ聯邦投票主義ヲ執ルニ其
州出身者ヲ除クガ聯邦投票ヲ爲シ得ルハ來ル十月一日迄ニ其
ノ出身州ヨリ州別投票用紙ノ交付無カリシヲ自證スル場合ニ限
ル規定ナルヲ以テ「政治週報第八號參照」政府ハ海外ニ對シ豫
メ發送セル聯邦投票用紙ヲ右期日迄嚴重保管方訓令ジタルガ二
十九日海軍省ノ洩ラス所ニ依レバ海軍徵集兵内ニハ既ニ投票用
紙ニ記入ラシテ郵送シ來リタルモノアリ「ユタ」「ワシントン
シ」「カリオルニア」「オレゴン」各州當局モ記入済ノ聯邦
投票用紙ヲ受領セルヲ認メ居レル外、聯邦投票ヲ認メザル紐育
州出身ノ兵ノ中ニハ民主黨全國大會以前ニ「ローナザエルト」
ノ名ヲ記入シテ發送セルモノアリ、前線ニ於ケル聯邦投票用紙
ノ期日前無差別配布ハ政治問題化セントスルニ至レリ、海軍省
ハ右配布ハ全ノ錯誤ニ基テモノナルヲ以テ既ニ投票セル將兵モ
改メテ投票シ得ベシトノ達前ヲ持シ居レリハ二十九日紐育中央
社

2

2

共和黨地事會議二十六州ノ共和黨知事會議ハ紐育州知事トシテ「デューアイ」司會ノ下ニ二・三兩目「セントルイス」市ニ開催セラレタルガ會議ハ「ニュー・デイール」政權ノ州權侵害ヲ攻擊シ「デューアイ」次期政權ヲ濟當セバ中央・地方ノ關係ハ憲法ノ期待スル本然ノ委ニ立歸リ地方ハ健全ナル發達ヲ遂ゲ得ベシトノ聲明ヲ發表スルト共ニ一三日「セントルイス」A.P.六ヶ條ヨリ成ル左ノ勸告ヲ採擇セリ(同上)「聯邦政府ノ權力集中ハ遂ニ幾多ノ州ノ存立スラ齊威スルニ至レリ。吾人ハ地方自治ヲ自由米國ノ爲ニ復治セシメントス。」一歸還兵ニ對シテハ就職機構ヲ完備セントス、但シ個人ノ希望ヲ尊重シ政府ニ依ル干涉的幹綻ハ之ヲ排ス。州政府ハ自己ノ責任ヲ自覺シ土木事業ニ關シ聯邦政府ノ援助ヲ乞フ前ニ自己ノ資金ヲ利用スベシ。」一ハイウエイ建設ニ關スル聯邦、州政府間ノ協力ハ繼續セラルベシ、「ガソリン」及自動車ニ對スル聯邦稅收ハ各州ニ公平ニ分配スペシ。

五 護國軍ナシヨナル、ガードハ州兵力トシテ且米國軍ノ豫備軍トシテ維持スペシ。

六 再轉換計畫ニ於テ餘剩軍需資材ヲ拂下タル場合ハ通常ノ商引ヲ以テシ之ガ分配ハ先づ州機關ヲ通ジテ行フベシ。

31

陸軍次官ノ要請ニ基キ五日十八歳ヨリ三十七歳迄ノ龍業者ニ
對スル徵集延期取消ヲ指令セルガ、一ハ一ヘ該龍業ガ軍需生
産ヲ深刻ニ阴害シツツアルニ徵シ罷業者ニ徵集延期ノ特典ヲ
與フル理由ナシト言ヒ居レリ一五日K R O J

龍業狀況
A Pニ依レバ八月一日現在十件ノ龍業ニ依ル全國ノ遊休労働者數
ハ二萬八千人以上ナリ一二日華府 A P一主要爭議ノ狀況左ノ如シ
(1) 費府市街電車及「バス」從業員五八〇〇名ハ、費府運轉會社
ガ職人ニ對スル差別待遇中止ニ拘スル人的資源委員會及公正
雇佣委員會ノ指令ヲ受諾シ墨人ノ運轉手ヲ採用シタルニ抗議
シ從業員ヲ代表スル C 1〇系運輸勞動者組合ノ認許ヲ得ズシ
テ一日總龍業ヲ開始シタルガ一四日官用電一右ニ憤慨セル黒
人ノ一團ガ武裝シテ暴動ヲ起シ白人ヲ襲撃シ店舗ヲ破壊スル
ニ及ヒ形勢重大化シ、黑白双方ヨリ成ル費府市民委員會ハ中
央ニ對シ戒嚴令施行ヲ要請スル一方、運輸勞動者組合ハ臨時
運轉手募集ニ依リ龍業切崩シヲ圖ラントセルモ龍業者側ノ妨
害ニ依リ失敗セリ、右ニ對シ「ロ」大統領ハ五日遂ニ陸軍ニ
對シ同市交通機關ノ接收ヲ命ジ「ピドル」檢事總長ハ反龍業
法違反ノ有無ニ付調査ヲ命令シ事態收拾ヲ圖リ居レルガ龍業
者側ハ黒人運轉手不採用ノ言質ヲ陸軍側ニ要求シテ譲テズ右
龍業ニ依リ軍需工員約九〇萬ガ足ヲ奪ハレタル結果一斐ラ
デルフィア一海軍工廠ノ作業ハ既ニ七十五「バーセント」違
延セシメラレ陸軍側ハ B 二九其他航空機ノ部分品製作ニ於テ
A P、「バーセント」ノ減產ヲ見タル趣ナリ一三日費府 U P
五日短波 K G E 1、K D O J 一尙微兵局ハ「バタソン

REEL No. 調-0068

• 40 •

「イリノイ」州「グラニット・シティ」ノ「ゼネラル・スティル・カスティング」會社ノ製鋼工四三〇〇ハ罷業中（同上）
東部瓦斯從業員罷業
東部十二都市ノ「ペブリツク・サービス・エレクトリック・ガス」會社ノ瓦斯從業員七〇〇八會社儂ノ作業豫定變更ニ抗議シテ罷業ヲ開始セリ（同上）

何右罷業ハ陸軍側ガ首謀者四名ヲ逮捕シ罷業者ニ對シ復業セサ
レバ戰爭中就職セシメズトノ布告ヲ發スルニ及び六日漸ク終
息セルガ（七日華府U.P.）陸軍側ハ罷業ノ原因トナレル黒
人八名ヲ逼轉手トシテ就業セシメタルヲ以テ本件ハ黒人側ノ
勝利ニ歸シタル次第ニシテ（七日華府「ロイタ」）之ガ黒
人ニ對スル偏見強固ナル南部地方ヘノ影響如何ハ注目セラル
「デトロイト」「モントゴメリーウォード」工場罷業
「デトロイト」所在「モントゴメリーウォード」工場ニ於チハ
會社側方倉庫監督人ニ對シ時間外手當ヲ支拂ハザリシニ起因シ
C.I.O.系從業員二千二百名ノ罷業勃發シ爭議ハ戰時勞動局ニ依
リ聯邦勞働調停官ソ手ニ移サレタルモ未解決ナリ（二日華府A
P）
「ゼネラル・モータース」工場罷業
「デトロイト」所在「ゼネラル・モータース・シエヴァオリイ」
ノ五工場從業員七千ハC.I.O.系合同自動車工組合指導ノ下ニ罷
業中ナルガ、原因ハ會社側ノ新生產目標ヲ過度ナリトセルニ因
ル（二日華府A.P.）
「レブリング」電線工場罷業
「ニュージャージイ」州「トレントン」ノ電線製造「レブリン
グ」工場從業員四七〇〇ハ會社側ガ九名ノ焼入レ工ヲ解雇セル
ニ同情シテ罷業中ナルガ、未ダ解決ノ見込立タズ（二日華府A
P）

REEL No. 調-0068

0403

